

2021年度情報処理学会フェロー称号受贈

クロステック開発部の寺田 雅之は、2022年6月7日付で情報処理学会よりフェローの称号を受贈しました。

本称号は情報処理学会への貢献が大きく、かつ学問・技術または関連する事業に関して功績が認められた者に対して贈呈されるものです。2021年度は18名がフェローの称号を贈呈されました。

本贈呈は、「プライバシー保護技術を活用した大規模統計データの実用化と社会課題の解決」の貢献が認められたものです。寺田は、統計データにおけるプライバシー保護の問題を中心として、データの有用性とプライバシーの安全性を両立させるプライ

バシー保護技術の確立と実用化に精力的に貢献しました。

特に、差分プライバシーに基づく大規模統計データへの実用的なプライバシー保護技術の確立に関する一連の研究成果は、ドコモの「モバイル空間統計」にて実用化され、帰宅困難者対策などの防災計画、観光振興やまちづくりなどの地域活性化、商圈分析などのビジネスオペレーションの最適化などに広く活用されており、顕著な業績と認められ、今回の贈呈に繋がりました。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

